クライアント型　うっかりメール誤送信対策ソフトウエア

WISE alert

送信前のポップアップ表示で誤送信を防ぐ
専用サーバー不要のシンプルな誤送信対策Outlook アドイン

WISE Alert 設計思想

メールはビジネスを円滑に進めるための便利なツールですが、誤送信をすると謝罪やメール削除依頼などの対応に追われて本来の業務を阻害し、さらには企業の信頼失墜につながるリスクがあります。
WISE Alertは、メール誤送信のリスクを回避するため「管理側」と「利用者」の2者の視点から開発しました。

メール誤送信の課題に対し、管理側に大きな負担を強いることなく導入・管理ができ、利用者のヒューマンエラーも考慮した、セルフ注意喚起を行うソリューション。それがメール誤送信対策ソフトウェア “ WISE Alert ”です。
社会の動きやお客様の声をもとに開発を行い、時代のニーズに応えた機能を提供し続けています。

このようなお悩みを解決します

- ☑ ダブルチェックや情報セキュリティ教育など、人に頼った誤送信対策に限界を感じている。
- ☑ 添付ファイルの送付方法など、社内で統一したメール運用を行いたい。
- ☑ 送信後に気が付く「しまった！」を減らしたいが、送信前のチェックになるべく負担をかけたくない。
- ☑ 脱PPAPを考えているが、セキュリティ面が心配。導入や運用上の手間はかけたくない。
- ☑ 機能は必要なものだけを使い、低コストで手軽に導入したい。

WISE Alert 6つの特徴

① 送信前に“確実に気づかせる”誤送信防止Outlookアドイン

WISE Alertは、送信時に表示されるポップアップ画面で差出人、宛先、添付ファイルなどをひと目で確認することができ、メール誤送信対策に効果を発揮するOutlook アドインです。クライアント（Outlook ）にインストールする方式のため、Microsoft 365やExchange Online、各種プロバイダやオンプレミスなどのメールシステムに依存せず、簡単に誤送信対策が行えます。また、専用サーバーは不要です。

②蓄積されたノウハウを活かした豊富な機能と柔軟な設定

長年の運用実績に基づき、現場で起こるミスに対応する多彩な機能を搭載。Alert表示条件や送信制御、添付ファイルの扱いなどを細かく設定できます。クライアント型でありながら送信の一時保留も可能です。

- 添付ファイル有無・外部宛先・件数などによるAlert表示制御
- 上司CC／BCC追加、送信保留、BCC変換などの自動制御
- 組織ポリシーを一元管理（エンタープライズ版）。送信規制や、アドイン無効化を監視するプログラムで対策を徹底
- “慣れ”による見落としを防ぐフェイク宛先表示機能

③ “ZIP暗号化 ”や脱PPAP対応の“リンク共有”、“そのまま送信” から選べる送付手段

添付ファイルからの情報漏えい対策も、PPAP対策も気になる方へ。WISE Alertではメールごとに運用を選ぶことができます。

- ZIP暗号化機能：　自動生成されたパスワードを添付ファイル送信先と別の宛先に通知することもできるため、送信先を間違えた場合にも受信者による添付ファイルの開封を防ぎます。
- リンク共有機能：　添付ファイルをMicrosoft SharePoint やMicrosoft OneDrive、Box に自動的にアップロードし、共有リンクを通知することで安全に添付ファイルの受け渡しができます。

④ ビジネスメール詐欺・標的型攻撃メール対策にも対応

巧妙に偽造されたフェイクアドレスなどを検知し、メール開封時や返信・送信前にAlert画面で警告を表示します。
不審メール通報や他WISE Alertユーザーへの警告メールのポップアップ表示も可能です。（エンタープライズのみ）

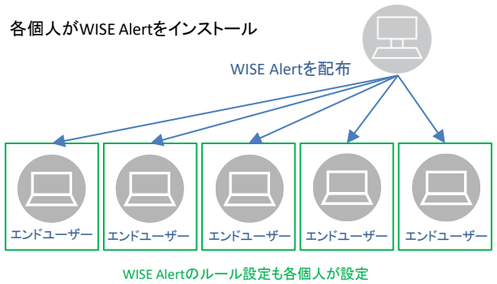
⑤ AIによるチェックでメール本文のリスクに気づかせる

AIが送信メール文章を解析し、誤送信や不正、ハラスメントなど不適切な内容のリスクを評価・警告。人の目では気づきにくいミスや違和感にも対応し、確認精度を高めます。

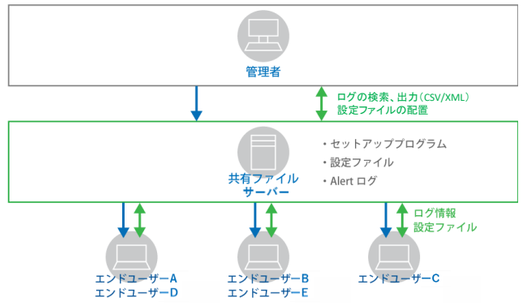
⑥ 英語、中国語に対応。海外子会社での使用例多数

日本語／英語／中国語に対応しています。海外展開されているグローバル企業の皆様にも多くご活用いただいています。

● 導入イメージ （スタンダード）



●導入イメージ （エンタープライズ）



スタンダードとエンタープライズの機能比較	スタンダード	エンタープライズ
誤送信防止機能	●	●
誤送信防止「強化」機能	●	●
添付ファイル送信機能	●	●
受信・返信Alert機能	●	●
AIチェック機能 NEW!	●	●
不審メール通報機能	×	●
お知らせポップアップ機能	×	●
運用管理設定機能	×	●
「働き方改革」支援機能	×	●
LDAPユーザー情報連携機能 ／ Active Directoryユーザー情報連携機能 オプション	●	●

●動作環境

- 対応OS： Microsoft Outlook がサポートするサーバー
- OS別メールクライアント:
  Windows 11：Outlook 2021、2024 および Outlook 365（64bit版）
  Windows Server 2025：Outlook 365（64bit版）
  ※ Windows Serverではターミナルサービス環境にも対応しています。
  ※ Windows ストアアプリ版 Outlookには対応していません。
- 対応言語： 日本語、英語、中文簡体、中文繁体

●価格 （価格はすべて税別）

＜サブスクリプション価格＞（年間利用料）

- エンタープライズ＜5～50ユーザー＞：1ライセンスあたり@1,720円
- スタンダード＜5～50ユーザー＞：1ライセンスあたり@1,540円

※ 年間サポートサービス費用は 年間利用料に含まれます。
※ ライセンスは5ユーザー以上でお買い求めください。
※ ボリュームディスカウントもありますのでお問い合わせください。

＜年間サポートサービス＞

●サブスクリプションライセンスの年間利用料金には、年間のサポート費用が含まれます。

20日間無料で使用できる評価版
ダウンロードはこちらから！

WISE Alert 検索

日立製作所様 6万ユーザー(※取材当時)導入事例などもぜひご覧ください

Copyright AIR Company Limited. All Right Reserved.
WISE Alertは株式会社エアーの登録商標です。本カタログに記載されているその他の会社名、サービス・製品名は、一般的に各社の商標または登録商標です。ここに記載した製品仕様および価格は予告無く変更することがあります。

エアーが開発する
WISEソリューション

株式会社 エアー
＜東 京＞　〒105-0001　東京都港区虎ノ門4-3-20
TEL：03-6773-7996
＜本 社＞　〒565-0851　大阪府吹田市千里山西5-31-20
TEL：06-6368-6080
各製品についての詳細は、下記までお問い合わせください。
https://air.co.jp

WAL_C2610_1

MESSAGING SECURITY SOLUTION
クライアント型　うっかりメール誤送信対策ソフトウエア

WISE Alert 製品には2タイプあります

エンタープライズ／企業向け ＜ 運用管理機能付き ＞

スタンダード／小規模ユーザー向け ＜ 運用管理機能なし ＞

● オプション機能 （両タイプ共通）

＜ LDAPユーザー情報連携機能／Active Directoryユーザー情報連携機能 ＞

LDAPサーバやグローバルアドレスリストに登録済みのユーザー情報を取得し、宛先の会社名・部署名・氏名を表示します。社内の同一部署や他部署、関連会社の宛先によって背景色が変わるため、社内・関連会社などで同姓同名の人宛てのメール誤送信を予防できます。

※別途ライセンスが必要です。また、予め設定ファイルの指定が必要です。

● 誤送信防止機能 （両タイプ共通）

＜ 送信時の警告機能 ＞　メール送信時に表示される警告画面で、以下をチェックでき、誤送信を未然に防止します。

☐ 宛先の確認
- カラーアイコンで、はじめての宛先／いつもの宛先をチェック （配布リストにも対応）
- 社名表示で宛先間違いをチェック

☐ 件名・本文も再確認

☐ 添付ファイルの確認
- ファイル名、内容を開いてチェック
- 添付方法をZIP暗号化／リンク共有／そのまま送信から選択

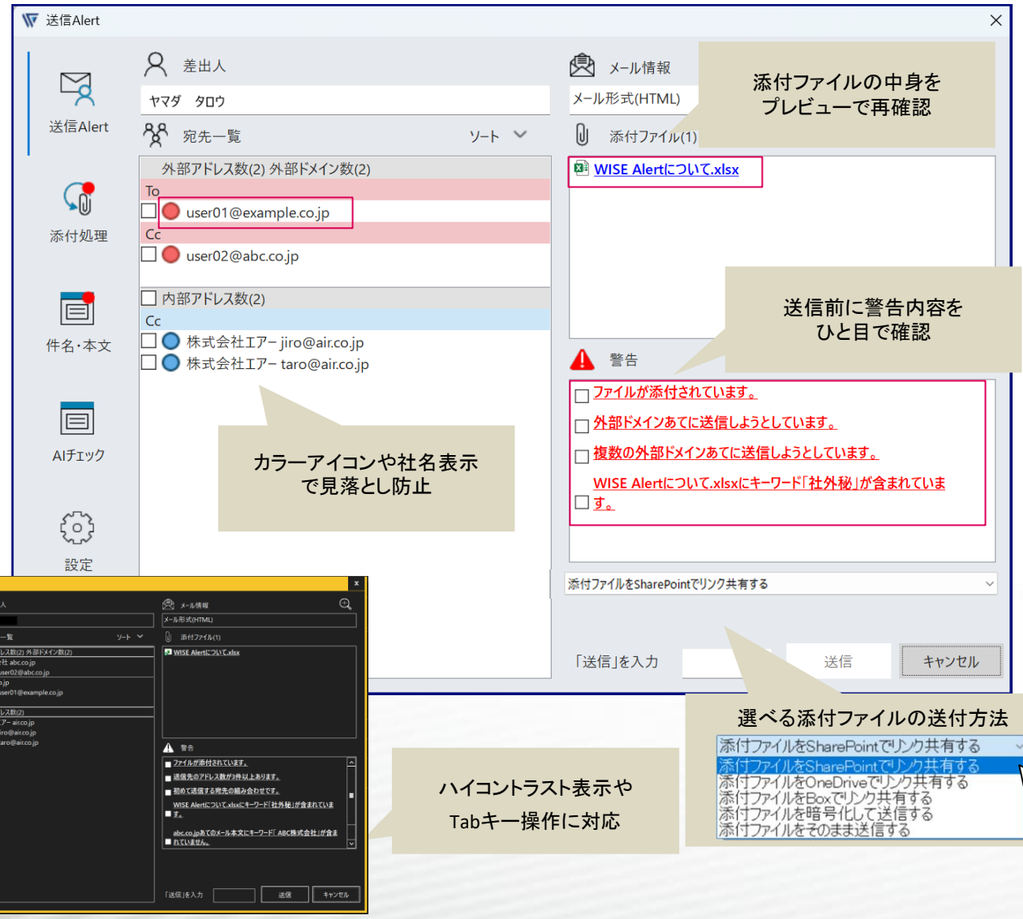
☐ 警告メッセージを確認
- 件名が空白／別会社の同姓宛ての可能性／宛先が初めての組み合わせなどをメッセージで確認

☐ 確認の最後に文字入力後送信

☐ AIによる文章チェック結果を確認
- 誤字脱字、不正やハラスメントなどの誤解を招く恐れがある文章とその改善案を確認

＜一時保留＞

一定時間経過後、自動でメールを配送します。間違いに気づけば、配信をキャンセルすることが可能です。
キャンセル後の再編集時など、即時送信も可能です。



● 添付ファイル送信機能 （両タイプ共通）

＜ 自動ZIP 暗号化機能 ＞

添付ファイルを自動暗号化して送信します。パスワードをZIPファイルの**送信先とは別の宛先に通知**したり、**パスワード通知メールの宛先を手動で入力**したりすることで、ZIPファイルを誤送信したときの情報漏えいリスクを軽減します。パスワード履歴を確認することもできます。AES-256にも対応しています。

＜ 添付ファイルのPDF変換・プロパティ削除機能 ＞

添付ファイル送信時に警告画面上で、Excel／Word／PowerPointファイルをPDFに変換したり、ファイルのプロパティを確認・削除したりすることができます。

＜ リンク共有機能 ＞

添付ファイル付きメールを送信時、連携済みのSharePoint、OneDrive、またはBoxにファイルアップロードし、メール本文とアップロード先情報を宛先に送信します。
PPAP対策に有効なほか、悪意がある者にメールを盗聴された場合にも添付ファイルを入手されることを防止します。
共有先フォルダの選択や過去にリンク共有したファイルを一定期間経過後に自動で削除することもできます。

● 誤送信防止「強化」機能 （両タイプ共通）

NEW

＜ 送信Alert画面を強制表示 ＞

特定の宛先に対して送信Alert画面を必ず表示させることができます。重要な相手先を登録しておくことで、何重もの誤送信予防になります。さらに、強制Alertリストに登録されているアドレスごとに、警告文をカスタマイズできます。

＜ BCC一括変換機能 ＞

メール送信時に、件名・本文に特定のキーワードが含まれる場合や、特定のアカウントから送信する場合、TOとCCの社外宛先件数が指定された件数以上の場合に確認ダイアログを表示します。さらに、そのまま社外宛先をすべてBCCに一括で変換することができます。

＜ 上司CC機能 ＞

メール送信時、上司アドレスがCCまたはBCCに自動付与されて送信されます。

＜ 宛先ドメイン判定機能 ＞

ドメインとキーワードをセットで登録しておき、不一致時に警告する機能です。例えば、「air.co.jp」と「株式会社エアー」をセットで登録しておけば、「air.co.jp 宛なのに本文の宛先や添付ファイル名が他社になっていた」などのうっかり誤送信を警告します。

＜ 送信Alert画面の色設定 ＞

「色設定」で条件と背景色が指定できます。例えば、外部宛先かつ添付ファイルがあるときに異なる背景色で表示させることで注意喚起できます。ハイコントラスト表示にも対応しています。

＜ カラーアイコン機能 ＞

送信Alert画面の宛先に表示されるアイコンの色について、手動で変更するモードと、送信済みの宛先履歴から判断して自動で変更されるモードがあります。

＜ フェイク宛先表示による慣れ防止機能 ＞

警告画面の宛先にフェイクアドレスを挿入します。「常に正しい状態の宛先とは限らない」という認識をもつことで、宛先を必ずチェックするよう習慣付けることができます。

＜ アドイン無効化監視 ＞

WISE Alertアドインが無効となった場合はユーザーに警告メッセージを表示しログを出力、アドインを有効化します。誤操作、故意に関わらずWISE Alertアドイン無効化を防止することができます。

＜ 送信規制機能 ＞

一斉送信時や添付ファイル付きなど、事前に設定した送信規制の条件やキーワードに一致したメールは、送信を強制的にキャンセルします。

＜ 送信先許可リスト機能 ＞

事前に登録した送信許可リストに載っていない宛先がメールに含まれる場合、メールの送信を強制的にキャンセルします。許可リストに登録する宛先はドメインでの設定も可能です。

● AIチェック（両タイプ共通）

＜ 送信メールのAIリスク判定＞

メール送信時に、不正やハラスメントなどの誤解を招く恐れがある文章をAIが検知し、改善案をアドバイスします。

誤字脱字はもちろん、情報漏えいや取適法違反などの不正と受け取られかねない内容や、ハラスメントにつながりかねない不適切な表現をチェックすることで、予期せぬトラブルを防ぎます。

● エンタープライズ専用機能

＜ 運用管理機能 ＞

組織での統一した運用・管理を支援する様々な機能を提供します。

例）誤送信防止ポリシーの一括設定、警告画面表示ログの収集と出力・検索機能、警告メッセージのカスタマイズ機能、エンドユーザーのクライアントツールアンインストールの制御機能など。

＜ 不審メール通報機能 ＞

あやしいメールを受信した際、ボタンをクリックするだけでそのメールを管理者等の指定のメールアドレスに通知し、あやしいメールは削除されます。

＜ お知らせポップアップ機能 ＞

WISE Alert導入ユーザー間で「通知メールである」ことを指定してメール送信した場合、その通知メールを受信時に、メールの件名・本文のポップアップ画面がデスクトップの最前面に表示されます。

＜「働き方改革」支援機能 ＞

長時間労働の改善に向け、時間外のメール送信に対して注意喚起を行います。登録した出勤日や就業時間外にメールを送信した場合にメッセージを表示します。メッセージは状況に合わせて自由にカスタマイズできます。

● 受信・返信Alert機能 （両タイプ共通）

メール受信時にも気づきを与えることでマルウェアやフィッシングメールによる被害から守ります

＜ 受信Alert機能 ＞

受信メール開封時、あらかじめ設定した受信Alert条件にヒットすると、警告メッセージやポップアップウィンドウで警告を表示します。

＜ 返信Alert機能 ＞

例えばなりすましの疑いがあるメールへの返信や、返信が一定回数以上行われている場合に警告ウィンドウを表示します。